

# 富士山資料館の周辺でみられるシジミチョウ類

シジミチョウ類は、小さな蝶（ちょう）の仲間ですが、その種（しゅ）の数は蝶全体の種類の約40%を占めています。日本では90種くらいいるといわれています。その特徴は、翅（はね）の色や模様にあります。有名なシジミチョウではエメラルドグリーンの鮮やかなミドリシジミの仲間がゼフィルスと呼ばれて愛好家がたくさんいます。ここではそんなシジミチョウのほんの一部を紹介します。

## ① ムラサキシジミ *Narathura japonica* Murray 1875

翅を開くと3~4cm程度になり、春から秋にかけてみられます。花で吸蜜をしているところはほとんど見られませんが、広葉樹（特にブナの仲間）の葉で羽を休めているところは良くみられます。冬は成虫（蝶）の姿で過ごすことが知られています。



ブナ科の葉に産卵



表側は鮮やかな青紫と黒

## ② ウラギンシジミ 春~秋



## ③ ウラゴマダラシジミ 春



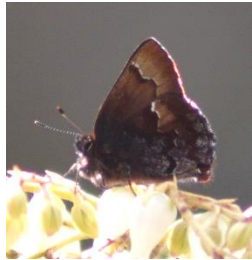
## ④ ウラナミシジミ 秋



## ⑤ ゴイシジミ 春~秋



## ⑥ コツバメ 春



## ⑦ ツバメシジミ 春~秋



## ⑧ ベニシジミ 春~秋



## ⑨ ヤマトシジミ 春~秋



## ⑩ ルリシジミ 春~秋

